

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	①JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分 ②JR青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅77系統)に乗車し、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約5分
4	あきる野市五日市郷土館	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
5	羽村市郷土博物館	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②JR青梅線「羽村駅東口」からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分
7	八王子市郷土資料館	①JR「八王子駅」南口から徒歩15分②JR「八王子駅」南口7番乗り場からバス「東京家政学院」または「法政大学」行き「上野町三丁目」下車徒歩3分
8	集合住宅歴史館 (独立行政法人都市再生機構)	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
9	福生市郷土資料室	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
10	瑞穂町郷土資料館(けやき館)	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩20分
11	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分 分館:西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩3分
12	立川市歴史民俗資料館	①JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩5分 ②JR「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩5分 ③JR青梅線「西立川駅」下車、徒歩20分
13	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
14	東京都立大学91年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
15	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩15分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」より京王バス「帝京大学構内」行きに乗車し終点にて下車
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約10分 ②西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約20分(いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	JR南武線「矢川駅」下車徒歩10分
20	たましん歴史・美術館	JR中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5~7分
23	町田市立博物館	小田急線・JR横浜線「町田駅」より町田バスセンター11番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	町田市民文学館ことばらんど	小田急線町田駅東口から徒歩12分、JR町田駅ターミナル口から徒歩8分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き6分、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	JR中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分
27	江戸東京たてもの園	①JR武蔵小金井駅北口バス2番3番停留所よりバス「小金井公園西口」下車徒歩5分 ②西武新宿線花小金井駅南口より徒歩5分「南花小金井」(小金井街道沿い)停留所より「武蔵小金井駅」行バス、「小金井公園西口」下車徒歩5分
28	東京農工大学科学博物館	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
29	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
30	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」よりはなバス第4北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
31	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
32	国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館	①中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで10分
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	①JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩12分 ②武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗車し、4番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	日本獣医生命科学大学付属 ワイルドライフ・ミュージアム	JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」南口より徒歩2分
35	狛江市立古民家園(むいから民家園)	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」より徒歩10分 ②小田急線「狛江駅」北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

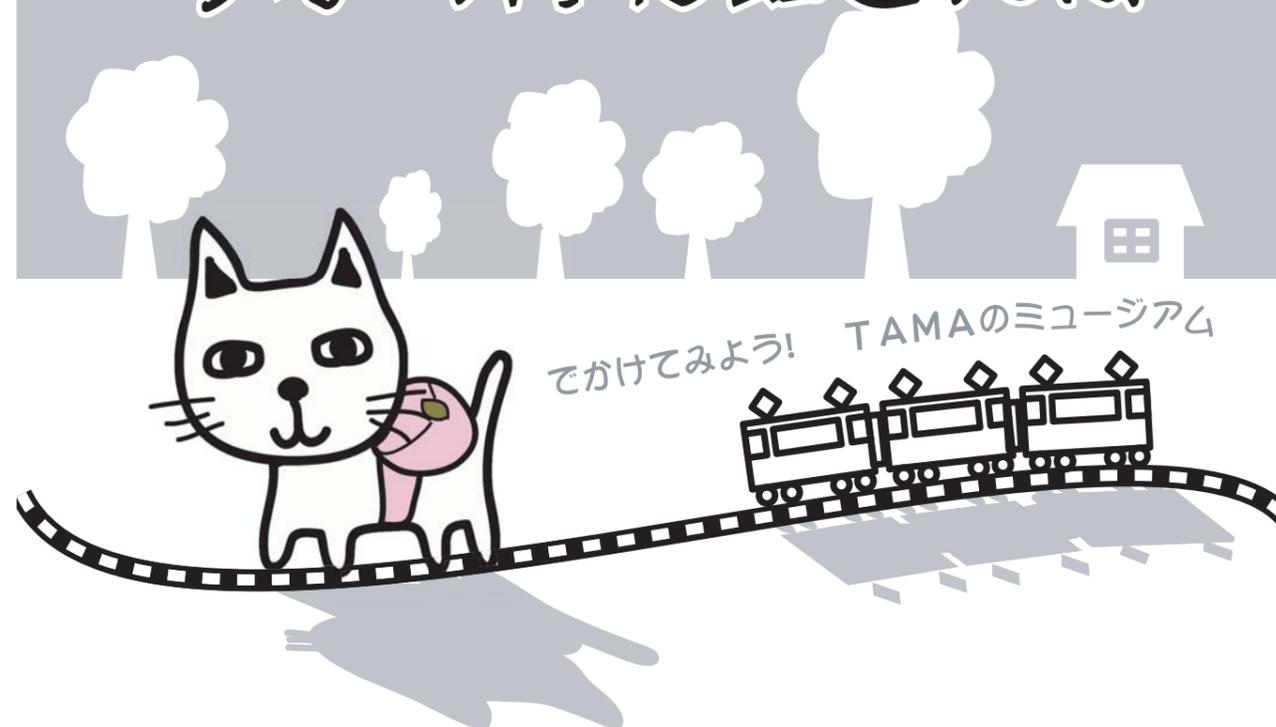
※たましん御岳美術館は、2019年9月末日に閉館しました。2020年春に竣工予定のたましん新本店・本部棟(立川市)に開設される新美術館に機能移転の予定です。

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2020年度春・夏号

2020年4月~2020年9月

多摩の博物館さんぽ

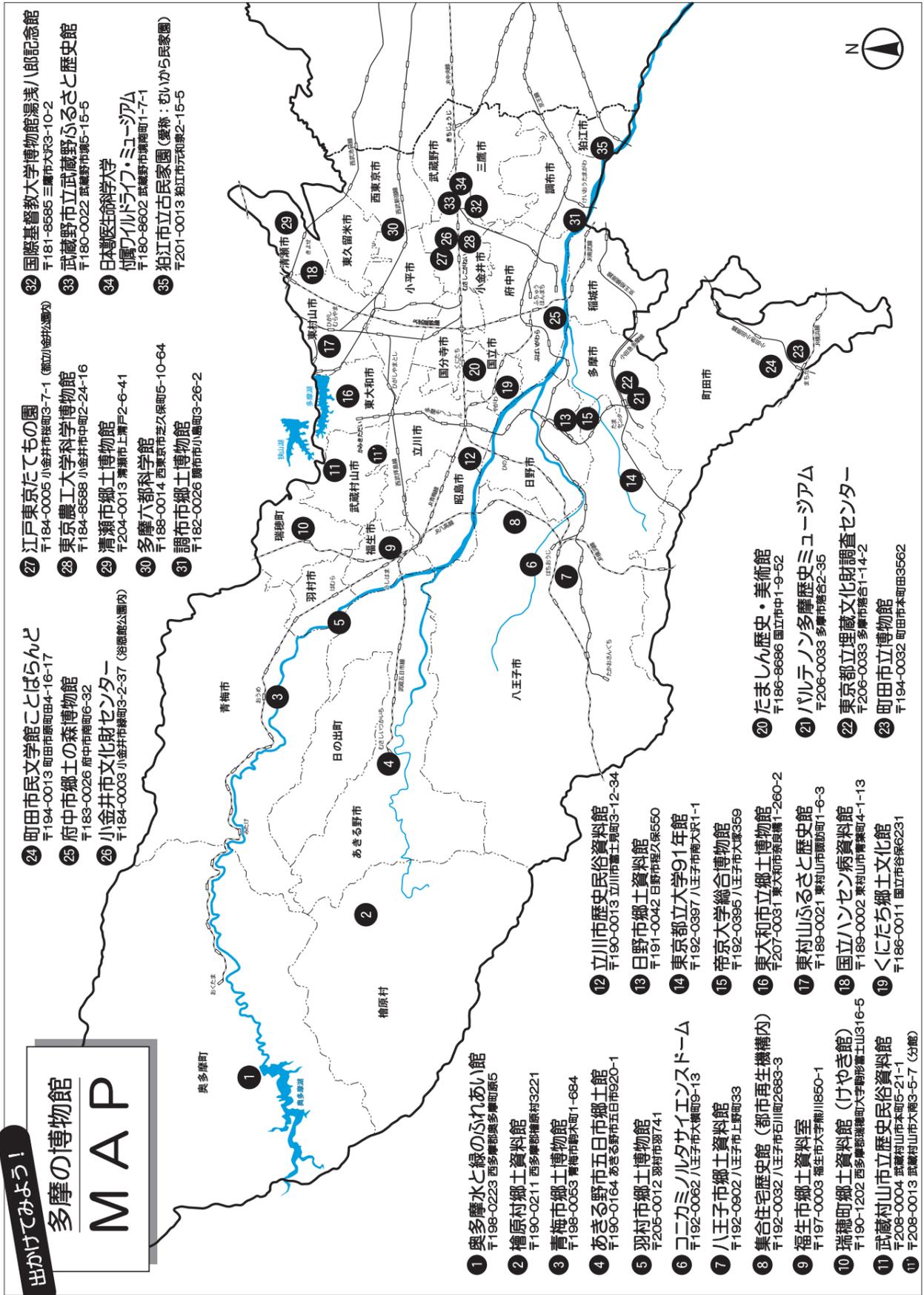


東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。

「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。

多摩地域の博物館をめぐってみませんか!

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、催し物の中止や延期など急な変更を行う場合があります。事前にご利用予定の施設にお問い合わせください。



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00~17:00(土曜日 は16:30まで)	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・ 展示準備期間(特別展開催期間外)・ 夏期休暇中および年末年始	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	------------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

- 特別展「よみがえる宮古島の祭祀 写真家、上井幸子と比嘉康雄が写した記憶」(4.14~7.3)
ふたりの写真家が残した宮古島の秘祭の記録。主に1970年代に撮影された白黒写真180点を展示し、知られざる琉球の精神文化を呼び覚まします。沖縄関係者の協力を得て実現した、東京では初の試みです。
- 公開講座「宮古島の精神文化に生きる祭祀とことば：上井幸子と比嘉康雄の写真をメディアリテラシーで読み解く」(6.6)
特別展企画者でもある藤田ラウンド幸世氏(本学客員准教授)が、地域文化の継承の様相について、島での調査・研究をもとに、ジェンダーの視点も踏まえて解説します。
- 特別展「日本のうろし工芸」(9.23~11.13)
当館所蔵資料より、食器や酒器、盆や提重などの漆工品をご紹介します。

【URL】https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30~17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

- 特集展示「武蔵野に残る旧東京市麻布区役所庁舎」(4.26~6.11)
令和元年(2019)11月に国の登録有形文化財(建造物)に登録するよう答申を受けた都内に現存する唯一の明治期の役所建築である旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号楼)を紹介します。
- 企画展「かたちの中の記憶」(5.16~7.16)
原始、古代から近現代までの考古、歴史、民俗資料や歴史公文書の中から、それぞれの時代の物を残す行為やそれに伴う人びとの思いなどを紹介します。
- 特集展示「武蔵野の近現代 国勢調査百周年記念」(6.28~8.27)
令和2年(2020)は大正9年(1920)の第1回国勢調査からちょうど百周年になります。そこで武蔵野市における国勢調査に関わる近現代の資料を紹介します。
- 企画展「武蔵野市域の地名」(7.25~9.24)
武蔵野市では、現在の町名が昭和37年(1962)に決定し、施行されました。武蔵野市で用いられた地名を紹介します。
- 特集展示「武蔵野の民俗」(9.13~11.12)市域に住む人々の暮らしについての展示を開催します。

【URL】http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

34 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム

本学の歴史に関する資料や、日本の里山で暮らす野生動物に関する資料を展示。

開館時間	事務室営業時間 火-金 8:30-17:00 土曜日 9:30-18:00	休館日	※耐震工事のため休館予定	入館料	無料	☎	0422-31-4151
------	---	-----	--------------	-----	----	---	--------------

展示室が設置されている本学一号楼の耐震工事を実施します。耐震工事の都合により、2020年度は博物館を休館し、耐震工事終了後に公開を再開する予定です。※詳細情報は大学公式サイト内博物館ページをご覧ください

- 一号楼について
本学一号楼は、1909年に竣工した旧東京市麻布区役所庁舎を前身としています。関東大震災後に使われなくなった庁舎を、1937年に現在の場所に移築して以来、学校校舎として活用を続けて来ました。昨年11月には、都内に唯一現存する明治期の役所建築としての価値が認められ、国の登録有形文化財(建造物)に登録するよう、文化審議会から文部科学省大臣に答申されました。

【URL】<https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>

35 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園)

文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30~16:30	休館日	月曜日(休日にあたるときはその翌開 園日)、年末年始(12.28~1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--	-----	----	---	--------------

- 年中行事展示 端午の節句には五月人形、七夕には七夕飾り、8月のお盆の時期には盆棚飾りを展示します。
- イベント・教室 5月のこどもの日には、昔あそび体験や工作教室を予定しています。また、夏休みの期間には、小・中学生を対象とした能楽や生け花などの体験教室を予定しています。詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。

【URL】<http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

27	江戸東京たてもの園 江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。						
開館時間	4~9月:9:30~17:30 10~3月:9:30~16:30 (入園は開園の30分前まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) ※2020.4.6・7.27・8.3・31は臨時開園 年末年始(2020.12.25~2021.1.1)	入館料	大人400円、中(都外)高校生200円、 大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎	042-388-3300
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室:「ぬくもりと希望の空間~大銭湯展」(3.3~9.27) ●春夏の催し 「こどもの日イベント」(5.4・5) 「夜間特別開園 下町夕涼み」(8.15・16) 「綱島家年中行事」梅漬け・土用干し(6月上旬~8月土用の頃) 盆棚の展示(6月下旬~8月中旬) 十五夜飾り(9月下旬頃) 		<ul style="list-style-type: none"> ●定例の催し ミュージアムトーク(毎月第4土曜日) 伝統工芸の実演(毎月第2土曜日と翌日曜日) 		【URL】 https://www.tatemonoen.jp/			

28	東京農工大学科学博物館 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。						
開館時間	10:00~17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料	☎	042-388-7163
イベント等はHPをご確認ください。 【URL】 http://www.tuat-museum.org/							

29	清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。						
開館時間	9:00~17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29~1.3	入館料	無料	☎	042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展・特別展 「はたおり伝承の会作品展」(5.19~24) 「横内裏絵本原画展(仮)」(7.11~8.2) 『ちいさなねこ』(福音館書店刊)をはじめ、清瀬ゆかりの洋画家・横内裏氏の作品を絵本原画を中心に紹介。 ●テーマ展示 「清瀬ゆかりの絵本作家展」(4.15~8.10) ●事業 自然観察会(4.19) ミュージアム・コンサート(4.26/7.18/9.5) 邦楽コンサート(9.5) ●年中行事 小麦の棒打ち(7.5雨天順延12) 		<ul style="list-style-type: none"> ●先人の知恵に学ぶシリーズ 親子で郷土料理(4.5/9.13) 柏餅作り講習会(5.14) うどん作り講習会(6.11) 染物教室(6.19/9.26) 手作り講習会(7.10) ●講座 文化財散歩(5.31) テーマ展示関連講座(6.6) 歴史講座(6.20/27) 火の花祭観戦ツアー(9.1) 		【URL】 http://www.city.kiyose.lg.jp/			

30	多摩六都科学館 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。										
開館時間	9:30~17:00 (入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始、その他機器整備の休館あり (※詳しくはホームページを参照)	入館料	大人520円、 小人(4歳~高校生)210円 ※年間パスあり ※プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100				
<ul style="list-style-type: none"> ●「ロクト運動サイエンスパーク」(3.20~5.6 ※期間は変更になる可能性があります) 運動能力をチェックして「体力記録カード」に書いてみよう。走ったり蹴ったり体を動かして健康・体力づくりのための知識を身につけよう! ●「パズル展2020(仮)」(7.18~8.31予定) すべての問題に正解があるとは限らない?!さまざまなパズルに挑戦してみよう。 ●生解説プラネタリウム「ノチウ -アイヌ民族の星座をたずねて-」(4.10~5.31) ●大型映像「ネイチャーリウム 富士の星暦 日本最高峰を知る」(4.10~終了日未定) ●大型映像「タートルオデッセイ バンジィひとりぼっちの冒険」(~7.31(予定)土・日・祝のみ) 								【URL】 https://www.tamarokuto.or.jp			

31	調布市郷土博物館 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。										
開館時間	9:00~16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29~1.3 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656				
<ul style="list-style-type: none"> ●郷土学習展「ちよっと昔の暮らし」(1.7~5.24) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。 ●企画展「(仮称)調布にオリンピックがやって来た!~1964年あの頃~」(6.27~9.13) 1964年の東京オリンピックと調布市や調布市民との関わりを資料とともに紹介します。 								【URL】 https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html			

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。										
開館時間	9:30~17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28~1.4 4.29は開館	入館料	無料	☎	0428-86-2731				
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業なども展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春の奥多摩ミニコンサート(4.18・19) ①11:30~②13:30~ ソプラノ歌手他による歌と演奏 ●水道週刊(6.1~7) *6.3は臨時開館10:00~16:00 アンケート調査と記念品の配布 ●夏の奥多摩フラダンスショー(7.18) ①11:30~②13:30~ フラダンスと音楽の公演 ●ダム写真展(8.1~31)ダム関連の写真展 ●水源郷土芸能イベント(9.13) 12:00~14:30ころ 獅子舞・鹿島踊り ●奥多摩吹奏楽団演奏会(9.26) 13:00~14:00 奥多摩中心の若手演奏家による公演 								【URL】 http://www.okutama.gr.jp/			

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。										
開館時間	4月~11月9:30~17:00 12月~3月10:00~16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880				
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別企画「夏休み昆虫標本展」(7.19~8.31)主に村内で採集された昆虫約450点を展示 								【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html			

3	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。										
開館時間	9:00~17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29~1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859				
<ul style="list-style-type: none"> ●新収蔵品展2019(4.1~4.5)平成30年度の寄贈資料を展示します。 ●企画展「青梅宿の才人 ~山田早苗と小林天淵~」(4.18~6.28)永久田家務本傳の市史史料集刊行を記念し、著者である山田早苗の作品や、新しく発見された小林天淵の作品なども紹介します。 ●企画展「青梅の中世城跡」(7.11~10.4)昭和41年に発掘調査をした青梅市指定史跡「今井城跡」の出土品が返却されたことから、今井城跡を中心に市内の城跡を紹介します。 								【URL】 https://www.city.ome.tokyo.jp/site/provincial-history-museum/			

4	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。										
開館時間	9:30~16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 年末年始	入館料	無料	☎	042-596-4069				
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示:五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。また、敷地内にある旧市倉家住宅では、年中行事として、正月の破魔矢・羽子板、3月の雛人形、5月には鯉のぼりや五月人形、7月の七夕飾りなどの展示を行っています。 								【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html			

5	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。										
開館時間	9:00~17:00(旧下田家住宅は9:00~16:00、12月まで一時閉館)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29~1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561				
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「ていのぼりと五月人形展」(4.1~5.10) ●企画展「多摩川の災害史(仮)」(5.23~8.23) ●ミニ展示「玉川上水を調べよう!」(6.13~12.13) ●自然観察会「クモ(仮)」(6.27) *要申込・会場:羽村市内 ●季節かざり「七夕かざり」(6.20~7.12) ●体験学習会「まゆから糸をひこう!」(8.15) *要申込・会場:羽村市郷土博物館 ●特別展「御鷹場の碑(仮)」(9.12~12.20) ●季節かざり「お月見かざり」(9.26~10.4) 								【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html			

6	コニカミノルタサイエンスドーム(八王子市子ども科学館) プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。										
開館時間	10:00~17:00(ただし火・金曜9:00~12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳~中学生100円 (プラネタリウム料金別・割制引有)	☎	042-624-3311				
<ul style="list-style-type: none"> ●1階は未就学児もお楽しみいただける「遊びカガク」。2階は国際宇宙ステーションの1/10模型と「シミュレーターISSのミッションに挑戦」、小惑星探査機はやぶさシミュレーター、宇宙の果てまで見ることが出来る宇宙ビューワー「Mitaka」、200年前に落下した八王子隕石や230万年前のハチオウジゾウについて展示。 ●プラネタリウムでは一般向け番組は「アンパンマン・星の色と空の色」、「ちびまる子ちゃん-それでも地球はまわっている」、「忍たま乱太郎の宇宙大冒険-月ウサギがクレーターをかけるの段」(7.12まで)、「Planet cafe 星空の虹」(6.17まで)を投影。星空の虹では、見た人は幸せになるという月の光でかかるハワイの夜の虹をご紹介します。月に一度、土曜日の夜18時から投影するトワイライトプラネタリウム、4~6月は「ベテルギウスの最期」。第四日曜午後3時50分からは解説員による「全編生解説プラネタリウム」も好評。4~6月のテーマは「ハワイの星空と南十字星」。ハワイから見える星空、マウナケア山頂4,205mにある日本の「すばる望遠鏡」などをハワイで撮影された写真とともに紹介します。 ●土日祝、夏休みには親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」などを開催。 								【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html			

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

7	八王子市郷土資料館	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。					
開館時間	9:00~17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎	042-622-8939
●特別展「織物の八王子」(2.15~5.31)※会期を延長しました。 ●企画展「(仮) 霊気満山 高尾山」(6.5~10.13) ●企画展「(仮) オリンピック」(7.4~10.13) 2020年の東京オリンピック開催を記念して、1964東京オリンピックと八王子を振り返ります。 ●企画展「戦争と八王子」(7.4~10.13) 昭和の戦争と戦時下の八王子を振り返り、戦争の悲惨さと平和の大切さを考える機会とします。 【URL】 https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html							

8	集合住宅歴史館	(独立行政法人 都市再生機構) 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。					
開館時間	13:30~16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制	☎	042-644-3751
●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容:同潤会代官山アパート:“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅:“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法:事前予約制のため予め電話で申込みください。 【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/							

9	福生市郷土資料室	福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。					
開館時間	10:00~17:00	休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)、年末年始	入館料	無料	☎	042-530-1120
●福生市制50周年記念企画展示「資料が語る福生市のあゆみ」(4.18~6.7) 明治時代から現代までの福生市の軌跡をたどる企画展示を開催します。文書や記念品などの資料を通して、行政の変遷、産業や生活の変化、さらには東京オリンピックとのかかわりなど、これまでの福生市のあゆみを振り返ります。 ●福生市制施行50周年記念特別展示「写真でたどる福生」(6.13~7.26) 生活インフラが整備され農村から都市へ姿を変えてゆく街並み、さらにはそこで営まれる人々の暮らしや生業の変化を、明治から平成までの写真でたどります。 ●企画展示「平和のための戦争資料展」(8.1~9.28) 毎年終戦の日に合わせて、戦争資料を通して平和の大切さを再認識することを目的とした企画展示を実施しています。 【URL】 http://www.museum.fussa.tokyo.jp							

10	瑞穂町郷土資料館(けやき館)	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。					
開館時間	10:00~21:00	休館日	第3月曜日(祝日の場合は翌日休館)、年末年始(12.29~1.3)、臨時休館日	入館料	無料(企画展は有料になることがあります)	☎	042-568-0634
●企画展「みずほの蝶」(4.11~6.14) 瑞穂町周辺に生息する蝶について、近年見られなくなった種類、見られるようになった種類や外来種など、蝶の生態について紹介します。 ●特別展「鉄道に関する展示」(7月中旬~9月中旬(予定)) 瑞穂町には昭和6年(1931)に箱根ヶ崎駅に八高線がやって来て以来、鉄道は瑞穂町に根付いています。展示では瑞穂町の鉄道の歴史を紹介します。 【URL】 http://mizuhokyo.jp							

11	武蔵村山市立歴史民俗資料館	分館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。	武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。				
開館時間	9:00~17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日(祝日の場合は翌日)、12.28-1.3 分館:月・火曜日(祝日の場合は翌日)、12.28-1.3	入館料	無料	☎	本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
●常設展:丘陵と台地が育む生命のあゆみ~人と自然との共生~ ●ミニ企画展「狭山丘陵の自然」(3.14~5.31) 狭山丘陵南麓を中心に見ることができる、四季の動植物を写真で紹介いたします。 ●年中行事展「端午の節供」(4.25~5.10) ●年中行事展「七夕飾り」(6.27~7.7) ●夏休み子ども展示「学校とあそび(仮)」(7.18~9.6) 市内小中学校のあゆみと子どものあそびを紹介します。 ●夏休み体験教室「草木染め」(8.22、9.12) 分館: ●常設展:戦時中(アジア・太平洋戦争)の武蔵村山 【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html							

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、掲載された行事等は中止・延期となる可能性があります。詳細は各館へお問合せください。

22	東京都立埋蔵文化財調査センター	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。					
開館時間	9:30~17:00 11-2月遺跡庭園のみ16:30まで	休館日	年末年始、メンテナンス休館(10.30・1.29・2.26)、3.11~3.19(展示替え)	入館料	無料	☎	042-373-5296
令和2年度企画展示「リケイ考古学 ―イマドキの探ると守る―」 考古学って文系?いいえ!イマドキの遺跡調査は結構理系な感じです。過去の向こうに未来が見える、リケイ考古学の世界へようこそ。 ●「縄文の村」自然観察会(4.18 AM) ●縄文土器作り(7.25・26) ●縄文アートで楽しもう(8.26) ●学芸員ギャラリートーク(4.26 AM) ●リケイ考古学ワークショップ(7.28) ●学芸員ギャラリートーク(8.30 AM) ●縄文ワクワク体験まつり(5.3・4) ●縄文レリーフ作り(8.4 AM) ●縄文土器作り(9.5・6) ●トンボ玉作り(6.6) ●縄文の布作り(8.4 PM) ●勾玉・耳飾り作り(9.10 PM) ●学芸員ギャラリートーク(6.28 AM) ●縄文土器の野焼き(8.22) ●縄文パクパクを作ろう(8.26) 【URL】 https://www.tef.or.jp/maibun/ 【Twitter】 https://twitter.com/tokyo_maibun							

23	町田市立博物館	展示事業終了					
開館時間	事務室営業時間 9:00~16:30	休館日	土日祝日および年末年始	入館料	休館中	☎	042-726-1531
2019年6月16日をもって、町田市立博物館での展覧会は終了しました。今後は市内各所で館外展示や体験講座を実施します。今後の催し物については町田市立博物館ホームページなどでご確認ください。 【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/ 【Twitter】 https://twitter.com/machida_museum							

24	町田市民文学館ことばらんど	「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介。					
開館時間	10:00~17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)	入館料	秋の企画展のみ有料 一般400円	☎	042-739-3420
●春の企画展「東京クロニクル1964-2020展-オリンピックと東京をめぐる創造力の半世紀-」(4.25~6.28) 「東京」という都市を舞台に紡がれた小説やエッセイ、ルポルタージュをはじめとする文学作品や、記録写真、映像などの視覚的資料を手掛かりに、そこに表現された「東京」のイメージやテーマ、創造者たちの手によって描き留められた風俗や事象を解説します。 ●夏の企画展「のりもの絵本あつまれ!-オリンピックへしゅっぱつしんごう!展(7.18~9.22)」 いつの時代も子どもたちに人気の「のりもの絵本」。本展では絵本原画や模型を展示し、絵本に描かれた飛行機、新幹線、バスなどを乗り継いで、オリンピック会場となる新国立競技場を目指します。 【URL】 https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html 【Twitter】 https://twitter.com/machida_kotoba							

25	府中市郷土の森博物館	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。					
開館時間	9:00~17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 年末年始(12.29~1.3)、臨時休館	入館料	大人300円、中学生以下 150円、4歳以下無料	☎	042-368-7921
●ミニ展「1964 東京オリンピックと府中」(~9.6) 聖火リレーのトーチや市内の写真等、1964年の東京オリンピックと当時の府中まつわる資料を紹介します。 ●企画展「コレクション~東洋の焼き物たち」(4.11~7.5) 市内にお住いの後藤恒雄さんから寄贈された東洋の陶磁器。そのなかから、30作品をご紹介します。 ●特別展「日本星景写真協会写真展~星の風景~」(4.18~7.5) 写真家が星空や自然風景に向き合って撮影した「星景写真」の数々をとおして、星空を見上げたときの感動をお伝えします。 ●企画展「多摩の観光~江戸時代から昭和まで~」(7.18~9.30) 人々の娯楽であった観光について、多摩地域を中心に紹介します。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド 府中いきもの金メダル」(7.18~8.30) 東京五輪開催年にあやかり、市域に生息する鳥や昆虫などをさまざまな視点別に金銀銅のベスト3を決めて紹介します。 ●あじさいまつり(5.30~7.5) 園内の古民家とあじさいのコラボレーションをお楽しみください。 【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/ 【Twitter】 https://twitter.com/kyodo_no_mori							

26	小金井市文化財センター	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
開館時間	9:00~16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(10月)、年末年始(12.29~1.3)	入館料	無料	☎	042-383-1198
●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。 ●季節展「名勝小金井桜」(4.1~5.31) 玉川上水堤の桜並木「名勝小金井(サクラ)」の歴史を錦絵や古写真で紹介 【URL】 https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html							